

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020 年 4 月 1 日作成 第 1 版

研究課題名	膵神経内分泌腫瘍に対するエベロリムスの治療効果予測因子の検討
研究の対象	1998 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの期間に、切除不能進行膵神経内分泌腫瘍に対して、横浜市立大学附属病院ならびに愛知県がんセンターにてエベロリムス療法を施行した方を対象とします。
研究目的 ・方法	膵神経内分泌腫瘍に対してエベロリムス療法が広く施行されていますが、治療効果を予測する因子は明らかになっていません。そこで本研究ではエベロリムスの有効性、治療効果予測因子を解析・検討します。診療録から情報を収集して解析しますので、対象の方に新たにご負担になることはありません。
研究期間	2020 年 6 月 5 日 から 2025 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	以下の日常診療で実施された項目を本研究に使用します。 1. 背景情報（年齢、性別）、既往歴、合併症、血液検査 2. エベロリムス投与期間、投与回数 3. 治療開始後の臨床経過
外部への 試料・情報の 提供	なし
外部からの 試料・情報の 取得と保管	上記情報は、共同研究機関より、主たる研究機関である横浜市立大学附属病院へパスワードをかけた匿名の電子データ（研究対象者の氏名、イニシャルは本研究の調査項目に含まれず、カルテ番号も収集しない。研究対象者の個人情報とは無関係の記号を付し、一見して個人が特定できないように匿名化）として提供されます。提供されたデータは、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルで横浜市立大学附属病院肝胆膵消化器病学のインターネットに接続できないパソコンで保存します。紙媒体で保管する場合は、施錠のできる保管庫等で保管します。このパソコンや紙媒体が保管されている部屋は、入室が管理されており第三者が立ち入ることはできません。 収集したデータは、少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、上記方法で厳重に管理します。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

研究組織	[主たる研究機関]横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 栗田裕介 [共同研究機関]愛知県がんセンター 消化器内科部 原和生
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 肝胆膵消化器病学 （研究責任者）栗田 裕介 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-784-3546</p>	